



100年を楽しく生きる

(1)
 発行人：
 一般財団法人共愛会芳野病院
 院長 沼 義則
 〒708-0332
 岡山県苫田郡鏡野町吉原 312
 Tel : 0868-54-0312
 Fax: 0868-54-3418
 https://www.kyouaikai.or.jp
 info@kyouaikai.or.jp
 発行日：令和 7 年 11 月 1 日

2025年 11月 芳野病院外来診療のご案内

受付時間 午前 8:00~12:00 / 午後 13:30~17:30
 診療時間 午前 9:00~12:30 / 午後 15:00~18:00 休診日 日・水・祝

診療科目	月		火		水	木		金		土		日
	AM	PM	AM	PM		AM	PM	AM	PM	AM	PM	
外科(総合外来) 外科 内科 整形外科 神経内科	27		28		29	30		31		1		2
					休診日					竹内研一 木下英人 平原博庸 木下英人 ▲平原博庸		休診日
	3		4		5	6		7		8		9
	吉田郡休日 当番日		藤本宗平 中山洋一 中山洋一 竹内研一		休診日	藤本宗平 沼 義則 沼 義則 高尾真一郎 久徳弓子		稲垣道子 竹内研一 竹内研一 ▲平原博庸		竹内研一 木下英人 平原博庸 木下英人 ▲平原博庸		休診日
	10		11		12	13		14		15		16
	中山洋一 藤本竜平 ●検査		藤本宗平 中山洋一 中山洋一 竹内研一		休診日	藤本宗平 沼 義則 沼 義則 山根健太郎 久徳弓子		竹内研一 平原博庸 ▲平原博庸		稲垣道子 竹内研一 竹内研一 藤本竜平 長谷川隆 平原博庸 ▲平原博庸		津山市 輪番救急・ 吉田郡休日 当番日
	17		18		19	20		21		22		23
	藤本宗平 中山洋一		藤本宗平 中山洋一 中山洋一 竹内研一		休診日	藤本宗平 沼 義則 沼 義則 久徳弓子		竹内研一 平原博庸 ▲平原博庸		稲垣道子 竹内研一 竹内研一 葉 裕貴 ▲平原博庸		休診日
	24		25		26	27		28		29		30
	休診日		藤本宗平 中山洋一 中山洋一 竹内研一		休診日	沼 義則 沼 義則 山根健太郎 久徳弓子		竹内研一 平原博庸 ▲平原博庸		稲垣道子 竹内研一 竹内研一 山本健嗣 平原博庸 ▲平原博庸		休診日

●：昭和大大学（内視鏡）検査 ▲：手術の場合は休診
 ※ご案内が変更の場合もありますのでご了承ください。（詳しくは受付まで）
 ※従来の診療予定（医師名が横列）は外来受付に設置しておりますのでご利用ください。

お問い合わせ先：TEL 0868-54-0312 FAX 0868-54-3418

☆急患の方はこの限りではありません。ご相談ください。毎月、月初めには必ず保険証をご持参下さい。

地域を支える心不全ケア

芳野病院の心臓リハビリテーション10月スタート

芳野病院では、2025年10月から心臓リハビリテーション（心リハ）を小規模に始めました。「心リハって何？」という方がほとんどだと思います。心リハとは、息切れやむくみが出やすい「心不全」などの方が、医師や理学療法士・看護師・栄養士と一緒に、体に無理のない運動の練習や、食事・お薬・休み方の工夫を学ぶ「支援」です。難しい訓練ではありません。その人のペースで進めます。これまで心リハは急性期の津山中央病院（当院の連携協力医療機関）で主に行われていましたが、当院にも高齢の心不全（弁膜症・心房細動を含む）や心筋梗塞後の方が多く通われています。「住み慣れた地域で、無理なく・安全に続けられる支援」を目指して、取り組みを進めています。

私たちの原点には、共愛会の理念「手をさしのべささえ勇気と安らぎを導き共に生と死をみつめる医療・介護を行う」があります。この理念のもと、「地域を支える」病院として急性期から在宅までの橋渡し役を担ってまいりました。院内では心不全対策チームを立ち上げ、心不全療養指導士を中心に、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・管理栄養

士・検査/放射線部門など多職種で、再入院予防・お薬や食事・運動の支援・退院後の生活サポートに取り組んでいます。津山・英田医療圏の高齢化率は39%と高く、通院の負担や介護との両立が課題です。そこで県北部では、基幹の津山中央病院を中心に、当院や近隣医療機関が協力する「岡山県北部心不全療養指導ネットワーク（NORTH-net）」を立ち上げ、入院中から退院後、在宅まで切れ目なく支える体制づくりを始めました。医療・介護、そしてご家族・地域の皆さまと一緒に、地域を支える一環が私たちの目標です。心臓リハビリテーションは、医師・理学療法士・看護師・栄養士・薬剤師などのチームで行うプログラムです。息切れが気になる、体力が落ちた、再入院が心配といったお悩みに対し、安全に配慮した運動と毎日の工夫（体重・塩分・お薬・休み方/動き方）を、無理なく続けられるようお手伝いします。

当院の心リハは小規模スタートですが、まずは通いやすさ・続けやすさを大切にします。必要な検査や入院治療、緊急対応が必要な場合は、連携協力医療機関の津山中央病院と緊密に連携し、しっかりとサポートしますのでご安心ください。

一般財団法人 共愛会
 循環器内科 芳野病院
 藤本 竜平



芳野病院は、津山中央病院や地域の医療・介護機関とともに、皆さまの暮らしを「地域で支える」病院です。

県民公開講座開催のお知らせ

県民公開講座「みんなで知ろう！心臓病の治療とリハビリ・栄養について」を2025年12月6日、グリーンヒルズ津山リージョンセンターにて開催します。

当院からも演者2名が参加し、わかりやすい言葉で今日から役立つ心不全の最新治療や運動、食事のコツ、体調の見守り方などをお話しします。参加無料・申込不要です。どうぞお気軽にお越しください。

詳細は・・・
 「心臓リハビリテーション」
 「県民公開講座」とともに、
 受付にチラシを設置しています！
 是非お手にとりてご覧ください

まずはご相談を！
 「心リハって？」
 「また入院したくない」
 「何から始めればよいかわからない」
 そんな時は、主治医や当院窓口へまずはご相談を！

編集後記

●まだ暑い：まだ暑い：と暑かったのに、ある日突然冬の支度が必要になりました。夏の日差しを思ってみると恋しいような：こたつにミカンを用意してみてもそれも楽しみなような：体調を崩しやすい時期ですが、年末まで乗り切りたいものです。すね。(Y・K)

●最近、朝夕が冷え込み始めました。今年自宅の柿の木には鈴なりなるほどの柿がなりました。祖父が接木をしていたように一つの木に3種類の柿がなっています。どれも美味しくどんな食べ方が良いか思案しています。(F・A)

News from Yoshino Hospital

インフルエンザワクチンのお知らせ

インフルエンザワクチンの接種を開始しております！
 予約不要で外来診療時間内に接種を行います。
 接種のみを希望される方は受付までお申し出ください。

接種料金 4,200円 ※2回目 3,200円

鏡野町では生後6か月以上中学生以下に相当する年齢及び65歳以上の方は無料です。他市町村においても65歳以上の方はそれぞれ助成金がある場合があります。詳しくは病院受付までお問い合わせください。

ご予約・お問い合わせ
 芳野病院 TEL:0868-54-0312

YOSHINO HP DIARY

Sep.-Oct. 2025

01 Sep. 8, 2025 KYT研修会

医療安全管理委員会による「KYT研修会」を行いました。
 KYTとは、危険(K)・予知(Y)・トレーニング(T)の頭文字です。
 今回は、写真の事例を見て潜んでいる危険や対策などをグループに分かれて話し合いました。

KYTとは

危険 Kiken	予知 Yocti	トレーニング Training
-------------	-------------	--------------------

「気づき」の訓練法、医療現場に潜んでいる危険に気づき、危険を察知できる能力を養っていくこと、自分たちの働く職場を安全な環境へ作り上げようとする取り組み



呼び込みをする時は、患者さんのそばに行って名前を言ってもらうヨシ！

目標を設定し最後に「私たちは〇〇しますヨシ！」とタッチアンドコールをしました。
 研修を通して事故を未然に防ぐなど職員の意識改善や危険予知能力の向上につながることを期待しています。
 (看護部長 永禮 博子)

02 Sep. 29, 2025 院外研修報告会

- ◆ 第3回地域から中小病院を考える会 医事課 山根 一真
- ◆ 第2回看護研究会(看護補助者教育研修会) 一般病棟 赤木 宏江
- ◆ 在宅におけるせん妄の予防と対策 あおぞら 高山 典子
- ◆ 認知症を持つ高齢認知患者に寄与する看護 療養病棟 永田 順子
- ◆ 県外合同病院見学レポート 法人本部 山田 晴基



研修会に参加した人からも「参考になる」「勉強になった」など感想が寄せられ知見が広がる実りある報告会となりました。
 (外来 師長 町 智世)

第57回岡山県北ACP・緩和医療研究会を芳野病院が担当し、88ホールとZoomのハイブリッド方式で開催しました！

03 Oct. 24, 2025 第57回岡山県北部ACP・緩和医療研究会 秋の研修会

初めに、芳野病院 理事長 藤本宗平先生より「高齢者救急問題の現状とその対応策についての提言 2024『提言を受けてどう行動するか?』」"提言 2024"のポイントの解説)について講演がありました。

「他県では、すでにマイナ救急が利用され救急受け入れに対するプロトコルができています。」「岡山県ではこのことを半分以上知らないのが現状であり、救急隊も困っている実態がある。」と話された。安全を守ることを優先に県北地域の整備体制が急務であると伝えられました。



次に、太田病院 田邊 綾先生(岡山大学病院 客員研究員)より『『その蘇生に、迷いはありませんか?』～DNARの今とこれから～』についてご講演いただきました。

田邊先生は、救急搬送体制連絡協議会 MCWG DNAR 専門部会会長をされており、医療職や救急隊などいろいろな視点からの意見を取り入れ、先行研究をもとに、**高齢者救急医療の現状と課題解決に向けた対策を行っているところ**であると伝えられました。

現在、岡山県独自のDNARプロトコル構築に向けて準備を進めているとの話がありました。



講演終了後には、医師を中心に活発なディスカッションが行われ、参加者の高い関心がうかがえました。会場とZoomを合わせて約80名が参加し、大変有意義な研修会となりました。
 (一般病棟 師長 小倉 玲子)



参加型企画

参加型企画
 スマホを使ったリアルタイム・アンケート直感(観)力で未来をイメージ
 アンケートアプリslidoを使用して、参加者の声をリアルタイムで反映する企画。設問内容は今後の医療・介護について、正解はなく、参加者の直感(観)を共有。一方向での講演が多いなか、自分の意見を考える必要があるため、「とても頭を使って疲れた」との声や、「画期的でよかった」「新しい形」「色々考える時間になった」との感想がありました。



シンポジウム

増大する高齢心不全患者への対応は地域および多職種連携が必須である

循環器内科 藤本竜平医師がシンポジストとして参加。増大する高齢心不全患者の対応について発表し、当院における「心臓リハビリテーション」新規開設支援の取り組みについても紹介された。また、4人のシンポジストが登壇し発表を行った後、コーディネーターを交えて活発な討論が行われました。

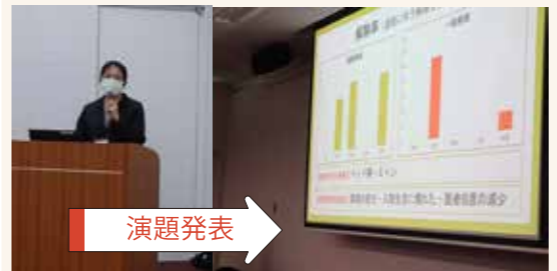
参加レポート

主催：岡山県地域包括ケアシステム学会
 運営：岡山県老人保健施設協会
 会場：岡山県医師会館 三木記念ホール他

岡山県地域包括ケアシステム学会 第9回 学術大会
 2025年 10月12日 10:00-17:30

平成28年に設立され、年1回の学術大会を開催。今年度は、岡山県老人保健施設協会が運営し、実行委員長を藤本理事長が務めました

今大会では、日本医師会 常任理事 江澤和彦 先生が「新たな地域医療構想と医療介護連携」と題した基調講演、津山市医師会 参与 光井 さとし 先生が「地域包括ケアが支える救急医療」と題した特別講演も行われました。2040年に向けて、「地域包括ケアシステム」の更なる深化を見つめる貴重な学術大会でした。
 看護部長 永禮 博子



演題発表

芳野病院における身体拘束最小化への取り組みについて

当院では、昨年、身体拘束最小化委員会を立ち上げました。身体拘束の件数・解除人数等を報告し、拘束廃止困難事例は多職種で実行・評価しています。また、不適切ケア、身体拘束疑似体験等の研修会も実施。今回これらの取り組みを振り返り発表しました。
 (療養病棟 師長 永田 順子)



道の駅 久米の里へドライブ

グループホーム 作楽より

久々の外出。天候にも恵まれ「久米の里」へドライブ。

他の利用者から声をかけられ交流も図れました。外の空気が「おいしかった!」そうです。お土産にシャインマスカットを購入。おやついただきました。

(グループホーム 作楽 介護 石原 ちさと)

老人保健施設 虹より

10月22日、虹の運動会を開催しました。お昼には、運動会恒例の「たこさんウイナー入りスペシャル弁当」をご提供。かわいらしいパックに盛り付けられたお弁当に、皆さまも自然と笑顔がこぼれていました。

入所フロアでは、「玉ころがし」「輪っか渡し」通所フロアでは、赤組・白組に分かれて「風船送り」「借り物競争」「お手玉早送り」などの競技を実施し、最後は職員による「パン食い競争」で大盛り上がり!

応援にも熱が入り、笑顔と歓声が絶えないひとときとなりました。

(虹 統括課長 米井 浩太郎)